

平成29年度

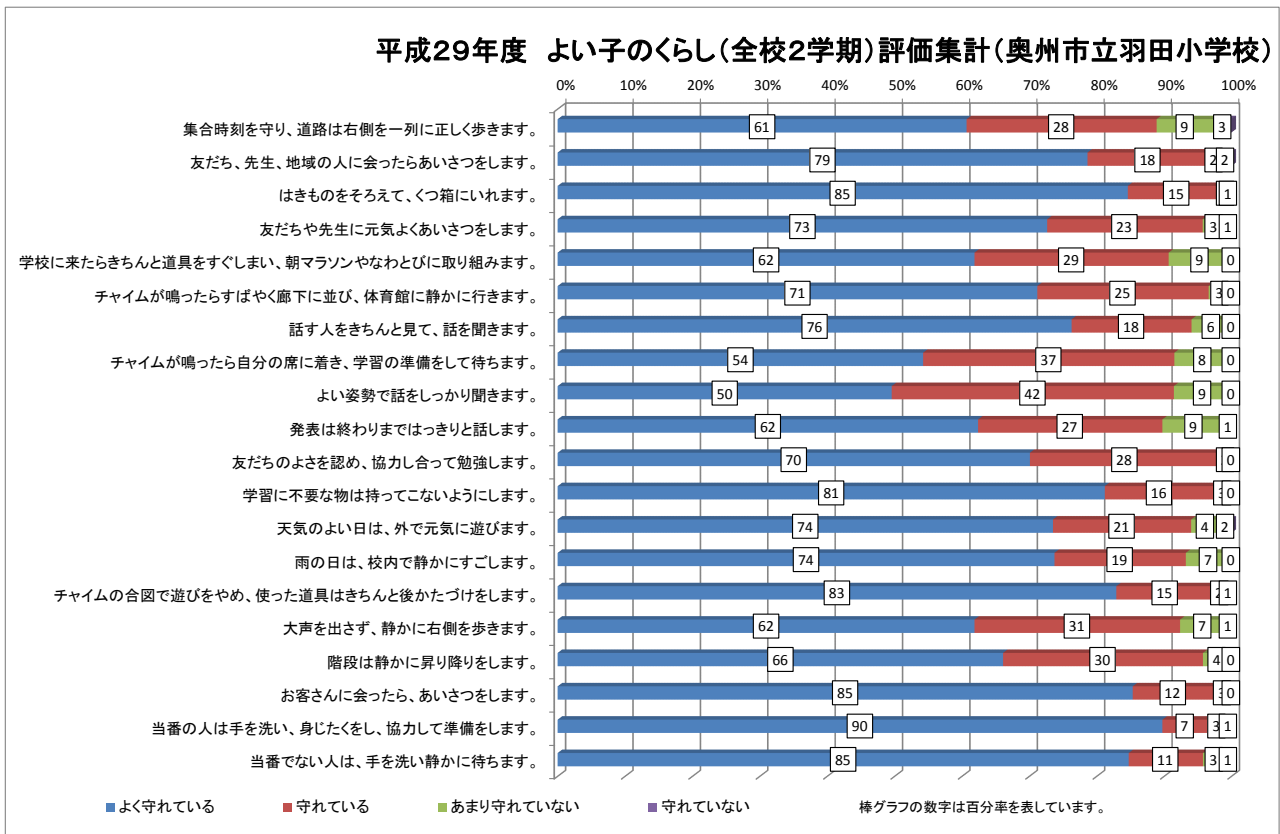
「羽田っ子 ふりかえりアンケート」集約

奥州市立羽田小学校

I 「羽田っ子 ふりかえりアンケート」

「今年度の羽田小学校の学校教育目標と『まなびフェスト』にかかわる、学校・児童や家庭・地域の取組状況や目標の達成状況について実態と意識を把握し、来年度に向けての改善点を検討する資料とする」ことを目的に「羽田っ子ふりかえりアンケート（児童・教職員・保護者・地域）」を12月に実施しました。その集計結果をまとめましたので、ご報告いたします。

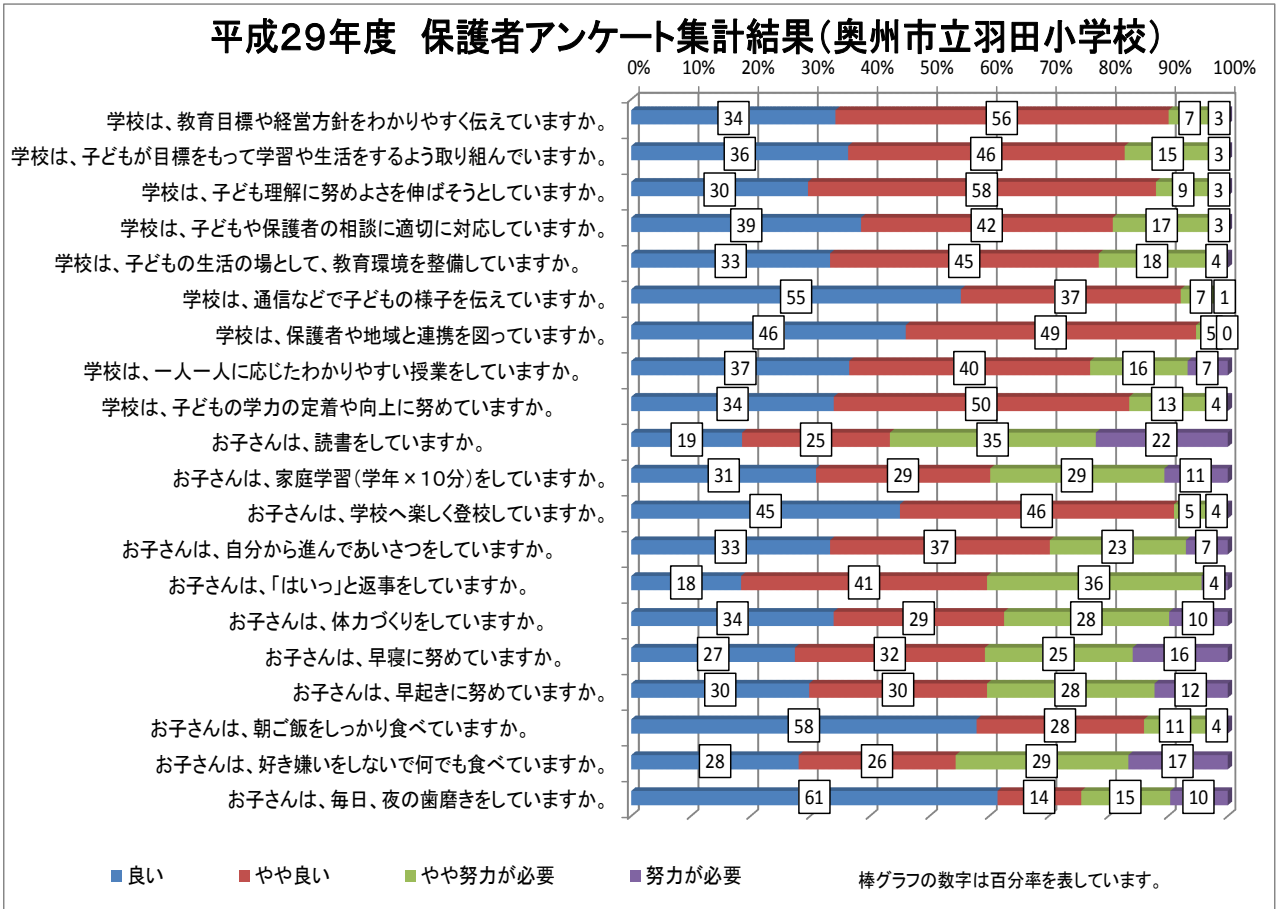
1 よい子のくらし 児童自己評価結果



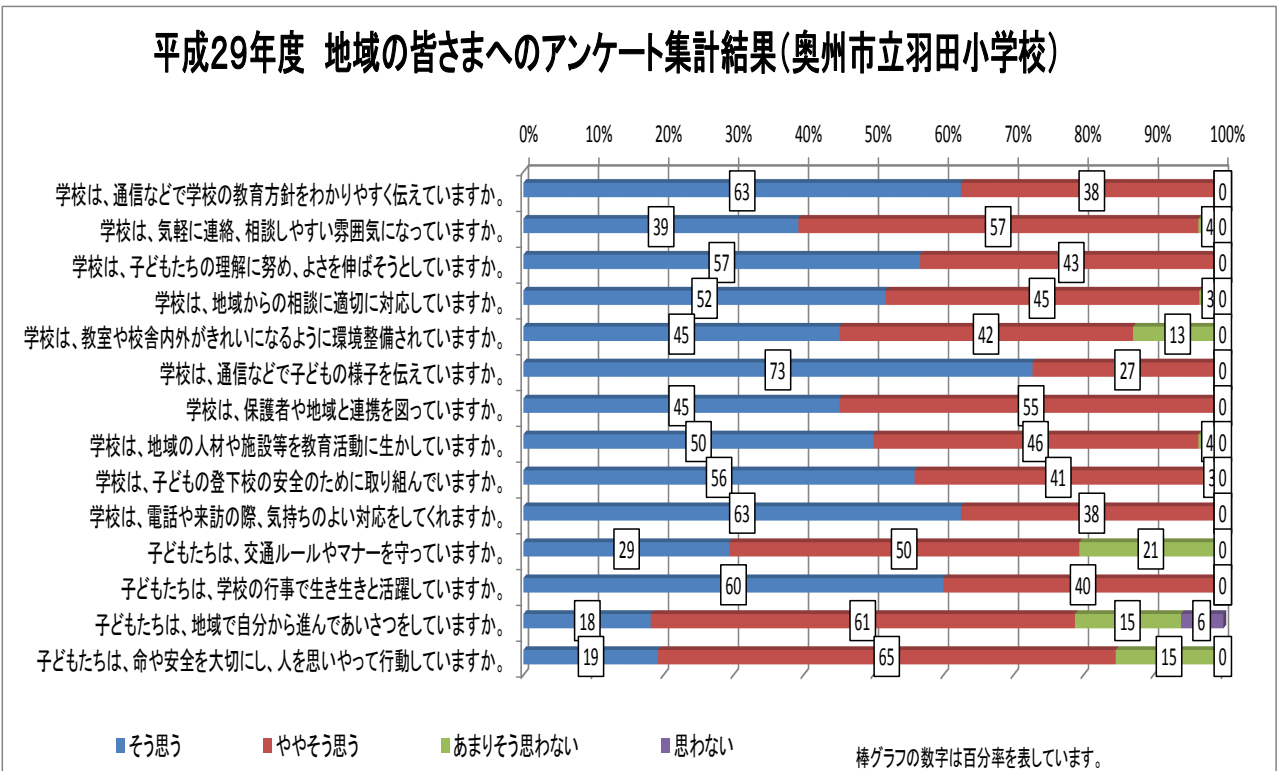
【結果から】

どの項目も、「よく守られている」と「守られている」の回答を合わせると、概ね9割に達しています。しかし、この中で、「よく守られている」の回答が60%前後と少ない項目があります。それは、「チャイムで学習の準備をする」「よい姿勢で話をしっかり聞く」「終わりまではっきり話す」という基本的学習習慣にかかわる項目です。また、「道路は右側を一列で歩く」「廊下は静かに右側を歩く」「階段は静かに昇り降りする」という生活行動面の項目が低い数値となりました。子どもたちは、これらのことについて自信をもってできているとは言えない状況です。

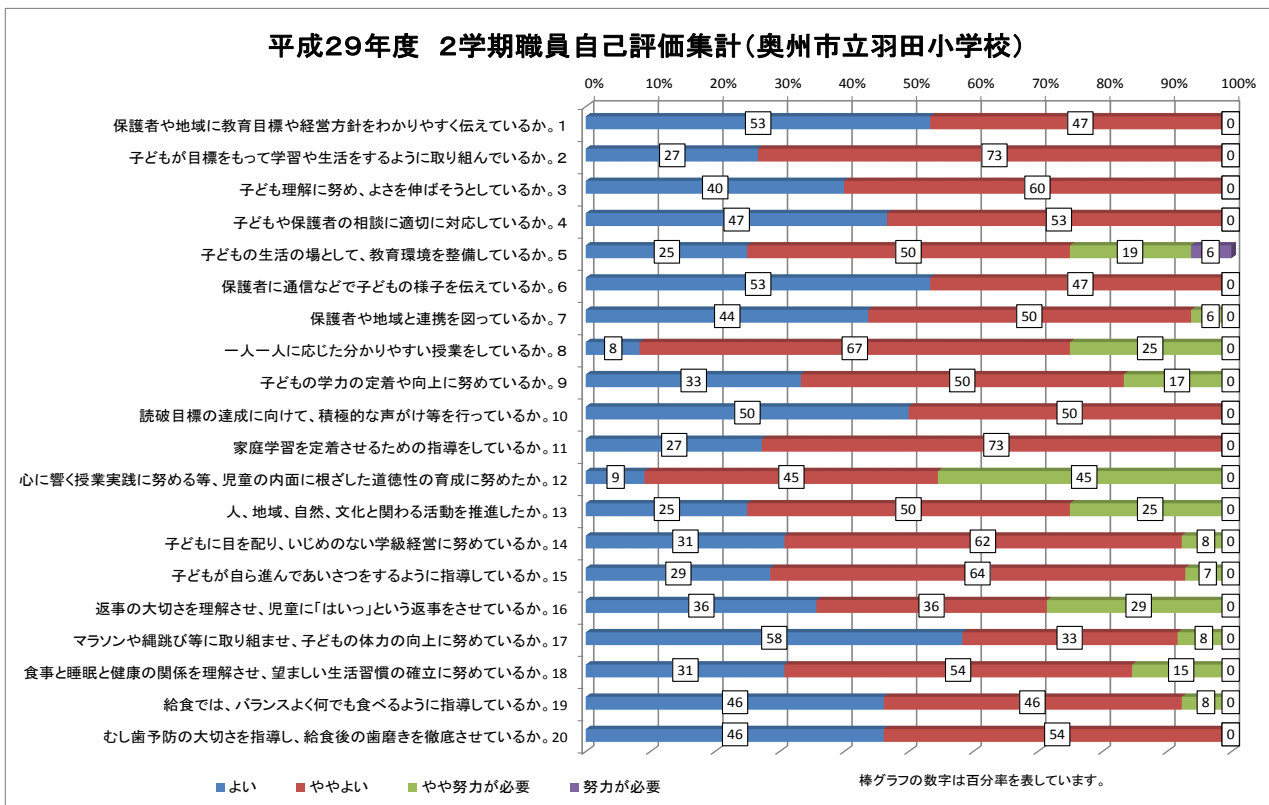
## 2 保護者アンケート結果



## 3 地域アンケート結果



## 4 職員自己評価



## II 「学校運営」に関する結果のまとめ

「学校運営」に関して、学校は、子ども理解に努め、教育環境を整え、学校の方針や子どもの様子を保護者や地域に伝えているかなどについて、保護者、地域、教職員にアンケートをとりました。概ね、昨年と同様の達成率でしたが、「通信等で子どもの様子を伝える」ことについてはとても高い達成率になっています。反面、「教育環境整備」は、トイレ改修等により改善傾向にあります。達成の状況は十分ではない結果です。校舎、備品の老朽化に伴い、整備改修箇所が大変多くなっている状況ですが、子どもたちの安全に係る修繕、整備を第一として環境整備を行うとともに、古くても清潔できれいな学校であることを大切に、清掃等にしっかり取り組める子どもたちを育てていきたいと思えます。

## III 「まなびフェスト」に関する結果のまとめ

### 1 かしこく

「わかりやすい授業」についての教職員の自己評価が低い数値となっています。一人一人の特性に応じてできる限りの指導を工夫することを続けて、力をつけていきたいと思えます。各教科での基礎基本の学力、学び方をしっかり身に付けさせるよう指導していきます。

「読書」と「家庭学習」については、学校と家庭で差のある結果となっており、家庭での読書、学習習慣をつけるための手立てが必要なことが明らかとなりました。子どもたちが家庭で進んで本を手にするよう、また、家庭学習でどのような学習をしたらよいかのわかり、進んで家庭学習に取り組むことができるよう学校としても指導の工夫を行っていきます。

## 2 やさしく

「あいさつ」は、学校では、場に応じて気持ちのよいあいさつをしようと意識している子が多くなってきている状況です。ただ、学校では意識できていても、家庭や地域で元気よくあいさつすることが、まだ、難しい状況にあるようです。子どもたちの意識を高めるための手立てと指導が必要な部分です。

「返事」についても、学校と家庭での結果に差があります。家庭での平均値は2.7と低く、昨年比でも下回っています。学校の結果でも、8割に届いていません。学級での指導や始業式、終業式、全校朝会等での全校に対する指導も継続していますが、今後手立てを改善しながら継続して指導する必要があります。家庭でも、返事を意識して子どもと接していただくことをお願いしたいと思います。

「心に響く授業実践」の項目で教職員の自己評価が低い数値となっています。全教育活動を通して道徳性の育成に努めるとともに、道徳の教科化に向け、その準備と実践に努めていきます。

## 3 たくましく

「体力作り」について、子どもたちは学校で、目標をもってマラソンや縄跳びに取り組んでいます。一方、家庭では、体力作りに進んで取り組むことができていない子どもがみられます。また、「早寝」「早起き」も習慣化されていない子がいます。基本的な生活習慣、運動習慣の形成が必須です。

「好き嫌いせずに食べる」は、給食では、指導に力が入れている結果となっていますが、家庭では好き嫌いをする子どもたちが多いたの結果となっています。学校では、栄養教諭による食育指導を行っています。回数は多くはありませんが、これをきっかけに各家庭での食事についても、子どもたちの意識が高まることを期待します。

「歯磨き」については、学校での給食後の歯磨きは十分に行われていますが、家庭で夜に歯磨きをしない、あまりしない子どもも全体の25%、つまり、30人以上います。学校保健委員会でも、学校歯科医の先生から、子どもが小学生のうちには仕上げ磨きに親がかかわることが必要との指導・助言をいただきました。歯磨きは習慣です。学校でも家庭でも、大人がかかわり、子どもたちの歯磨きの習慣を身に付けさせたいと思います。

## IV おわりに

今年度も羽田小学校は、保護者、地域の皆様に支えていただきながら、教育活動を進めることができました。保護者の皆様には、各家庭でのお子さんの教育、そして、学校への協力をたくさんいただきました。地域の皆様には、稲作づくりの先生として、鑄物太鼓の先生として、読み聞かせのボランティアとして、その他さまざまな学校教育に関わりまして、たくさんご指導をいただきました。また、見守り隊の皆様には、毎日子どもたちを見守り、事故等から守っていただきました。本当にありがとうございました。

保護者や地域の皆様のアンケートや児童のアンケートをもとに、来年度の学校経営について検討を進めてまいります。これからも家庭や地域との連携を大切に羽田小学校の教育を推進してまいりますので、よろしくお願いたします。